

## 日本イスパニヤ学会 2023 年度第 1 回理事会議事録

日時：2023 年 4 月 2 日（日）13:00～17:20

場所：Zoom 利用によるオンライン会議

出席者：安保寛尚、糸魚川美樹、松本健二、中井博康、仲井邦佳、成田瑞穂、西村君代、野村竜仁、大楠栄三、大森洋子、高松英樹、竹村文彦、立岩礼子、土屋亮、山村ひろみ、安富雄平（ABC 順）

欠席者：なし

議題：

<審議事項>

(1) 前回議事録の承認

・2022 年度第 3 回理事会（10 月 1 日開催）議事録案が承認された。

(2) 本年度機関誌編集について

・機関誌編集委員長野村理事より、理事会開催日時点で投稿論文が未着であることから、投稿状況の報告は第 2 回理事会にて行うことが説明された。また例年理事会開催日に実施される編集委員会は 4 月 14 日に延期し査読者を決定すること、第 2 回理事会では査読結果もあわせて報告されることが説明された。

(3) 本年度第 69 回大会について

・第 69 回大会実行委員長高松理事より、大会開催案内（案）の掲示とともに以下の報告があった。

①開催日程：2023 年 10 月 14 日（土）・15 日（日）

②会場：中央大学多摩キャンパス

・形式は全対面形式を軸に大会校で検討中。後日最終決定を理事会へメール報告。[4 月 8 日、12 日メール報告：大会校実行委員会にて全対面方式で実施に向けて調整する旨の報告]

③記念講演：語学教育をテーマとする方向で検討中。

④研究発表申込：2023 年 5 月 1 日（月）10:00～6 月 30 日（金）17:00（SOLTI による受付のみ）

・開催案内にある「発表内容」「申し込み方法」の項について若干の修正を加えることが承認された。

(4) 来年度大会（第 70 回）開催校について

・庶務委員西村理事より配付されたこれまでの開催校リスト（西日本）をもとに審議を行い、京都産業大学（第一候補）、京都外国語大学（第二候補）、関西学院大学（第三候補）に打診することになった。

(5) 本年度広報について

・広報委員中井理事より会報 30 号の内容案とスケジュール案が掲示され、承認された。

(6) 名誉会員の推薦について

・山村会長より、名誉会員の選出基準②に基づき、三好準之助氏を推薦する提案があり承認された。三好氏へ理事会からの推薦を連絡し受諾意向については後日メール報告される。[4 月 4 日メール報告：推薦を受諾されることを確認。授与について本年度総会に諮られる。]

(7) 研究発表規程の改訂について

・発表資格を持つ者について、発表時に会費納入を完了している会員および名誉会員であることを明示する改訂案が承認され、審議事項(3)大会開催案内の「発表申込資格」にも説明が追加されるこ

とになった。また、発表予定者の会費納入状況の確認および未納者への督促通知送付を事務局に委託することが承認された。

(8) 投稿規程の改訂について

① 名誉会員の投稿について

機関誌への投稿資格を持つ者について、名誉会員も含める改訂案が承認された。

② 投稿電子化について

機関誌編集委員長野村理事より、投稿電子化の具体的内容について提案があり以下の形で承認された。

- ・ 提出先：Google Forms を使用する。
- ・ 提出データ：Word で作成されたものを提出。PDF に変換したデータも併せて提出する。
- ・ 編集委員会による原稿の受け渡し：査読者にメールで送付する。査読者の希望により担当編集委員が印刷して郵送する場合もある。
- ・ 投稿様式：HP 上にテンプレートを用意する。注釈は脚注とする。
- ・ スケジュール：上記内容を含めた規程の改訂案を次回理事会で提案、承認後に学会 HP および一斉メールで会員に周知する。

(9) 学会奨励賞規程の改訂について

・ 機関誌編集委員長野村理事より、学会奨励賞の選考プロセスについて経緯説明と以下の提案があり、承認された。

① 奨励賞応募者の投稿論文の採否を編集委員会が理事会に報告（複数の応募者の論文が採択された場合は査読結果に基づき上位 1 名を報告）。

② 理事会が審査委員会を設置し、この委員会による審査結果に基づき理事会が授賞の可否を決定する。

・ 上記プロセスを明文化した規程の改訂案は次回理事会で提案され、2024 年度の学会奨励賞選定作業に適用される。また、現行規程には奨励賞が論文を対象としていることが不明瞭な箇所があり、改訂案には当該箇所の修正も含まれる。

(10) 研究発表採否の通知方法について

・ 大会研究発表採否の通知方法は現行のとおりとすることが承認された。

(11) 「個人情報保全管理費」について

・ 会計担当高松理事より事務局（ガリレオ）から新規経費「個人情報保全管理費」の負担依頼があったことについて経緯説明があった。会員の個人情報管理に不可欠な経費として、その支出が認められた。ただし旧会員（非アクティブ会員）のデータの扱いについては別途審議される。

(12) 非アクティブ会員の扱いについて

・ 審議事項(11)に関連し、保全管理費の削減と個人情報の適正な管理のため旧会員（非アクティブ会員）のデータは一定期間保管の後、理事経験者の役職歴等、学会で保管すべき情報以外は可能な限り削除していく方針が認められた。現在非アクティブ会員の情報抽出はガリレオに委託される。

(13) 次回理事会開催について

・ 2023 年 7 月 30 日（日）13:00～ Zoom 利用によるオンライン会議で開催することになった。

(14) その他

- ・機関誌編集委員会委員長野村理事より、機関誌の在庫管理に関する事務局（ガリレオ）からの依頼について説明があった。今後は在庫を整理し各号5冊を保管し余剰分は廃棄とすること、廃棄作業はガリレオに委託することが承認された。
- ・中井理事より大会講演者への謝礼金に関する問い合わせがあり、山村会長より次回理事会で審議される旨説明があった。

#### <報告事項>

##### (1) 会員異動

- ・庶務委員西村理事より2022年3月末までの会員異動データが未着であることから、異動状況が確定しだいメールで報告される旨説明があった。[4月11日メール報告：2022年12月から2023年3月までの新入会員は1名、退会者は11名（うち4名は3年間会費未納による退会処分）。2023年4月1日現在の会員数は344名+19機関]

##### (2) 会計報告

- ・会計委員大楠理事より2021年度会計報告（2022年度総会で報告）の確認があった。2022年度会計は次回理事会で報告される。また2022年12月31日時点での学会資産の報告があった。

##### (3) その他

- ・野村理事より機関誌投稿規程の改訂に伴う会報30号「HISPÁNICA編集委員会より」の内容変更とスケジュールについて確認があった。